

## 薄川の洪水被害

薄川は過去にも幾度となく氾濫しており、流域では甚大な洪水被害を被っています。

年 月	被災状況
明治29年 7月	筑摩、博労町、惣社前、北小松地籍で護岸が決壊。右岸では南深志町、宮村町、小池町、飯田町、本町、中町、伊勢町、博労町、左岸では里山辺、松本町新屋で浸水被害が多数あった。家屋流失、人畜死傷があり、開智学校が倒壊した。
明治31年 9月	博労町、中林橋付近北で護岸が決壊。右岸の博労町、松本町風呂屋、同町天神裏、同町晒屋、同町本町五丁目、同町本町裏、同町巾上で床上浸水被害が多数あった。
明治39年 7月	埋橋、惣社前地籍で護岸が決壊。右岸の博労町、長沢町、南深志一帯で浸水被害が多数あった。床上浸水750戸、床下浸水1,350戸、全壊家屋5戸、半壊家屋50戸、家屋損壊200戸、家屋流失3戸、溺死者2名。
明治44年 6月 27～29日	里山辺村北小松で堤防約75間（140m）を破壊し、南小松で85間（150m）決潰。濁流による家屋半潰2戸、物置土蔵半壊2戸、床上浸水18戸に及び、浸水家屋は338戸に達した。筑摩神社の社殿の一部が破損埋没した。
明治44年 8月 3～5日	南小松、北小松地籍で堤防が決潰し、濁流が各町の通りを押し流して女鳥羽川に流れ込んだ。北小松では人家88戸の大部分の74戸が床上まで浸水し、うち堤防に接していた7戸は土砂に埋没した。
昭和 4年 9月 9～10日	筑摩地籍で堤防が55m決潰。
昭和 7年 7月 7～8日	松商グラウンド南で堤防が40間（70m）決壊。 里山辺地積で堤防が40間（70m）決壊。下流の金華橋橋脚1ヶ所流失。 入山辺地積で橋倉橋が流失し、中電1、2、3、4 発電所運転不能。 南小松地積で水防活動中の消防団員が牛棗とともに流され、重傷を負った。
昭和10年 6月 28～29日	市内逢初橋上流南側堤防3間（5m）が欠壊。 入山辺地積で堤防が20m、100間（180m）決壊、南方地積で3間（5m）、平林地積で右岸60間（30m）崩壊。南方地積で人家50戸が浸水。
昭和34年 8月 14日	入山辺の厩所地籍で堤防が決壊。入山辺の大手橋が流失。松本市全体で3766戸が浸水。
昭和36年 6月 29日	南方、舟付、大仏等で護岸が決壊。一本橋が流出。八竜橋の橋脚1基流失。松本市全体で550戸が浸水。
昭和46年 9月 6～7日	出水により薄川沿川南小松地籍など、18ヶ所の堤防が決壊し浸水。松本市全体で105戸が床下浸水。
昭和58年 9月 28日	出水により護岸が欠壊。松本市全体で866戸が浸水。

出典：「東筑摩郡誌」、「松本消防のあゆみ」、「信濃毎日新聞」、「信濃民報」、「市民タイムス」等